

たやちようあいのたや
田谷町相ノ田谷遺跡

横浜市栄区 No.111 遺跡



1.調査区近景



2. 中世 竪穴状遺構 木製品出土状況



3. 中世 土坑 かわらけ出土状況



4. 中世 遺物集中

● 主な調査成果

中世で特筆される遺構には弓や木臼、漆器皿等の木製品が出土した竪穴状遺構があります。この遺構から出土した弓は表裏両面に竹を貼り合わせる「三枚打弓」の芯の部分で、遺構内での出土位置は床面付近でした。発見された時の弓は、端部の末弭(うらはず)と弓把(握)に想定される部分が分かれていました。この弓が出土した竪穴状遺構は、弓と同じ床面付近より木臼や漆器皿も出土していることから、道具類を保管する施設であったと推定されます。他にかわらけがほぼ完形でまとまって出土した土坑や破損した木臼と陶器類等で構成される遺物集中等の遺構があります。これらの遺構からは当時の廃棄行為のあり方の一端がうかがえました。

- 調査期間 2016年4月1日～2017年6月30日
2019年8月1日～2019年9月30日
- 事業者 国土交通省関東地方整備局
- 調査原因 高速横浜環状南線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世、奈良・平安、古墳、弥生、縄文、旧石器
- 所在地 横浜市栄区田谷町
- 遺跡位置 JR東海本線大船駅から北西に約2.3kmの相模野台地上

